



週間情報



No.0339

発行日 令和3年11月2日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 令和3年度全国消防長会財政委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会財政委員会

令和3年10月26日（火）、北海道千歳市（ANAクラウンプラザホテル千歳）において、令和3年度全国消防長会財政委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議題等は、次のとおりです。

【情報提供】

- 1 令和4年度国の予算概算要求に関する要望活動の概要について
- 2 令和4年度消防庁予算概算要求の概要について
- 3 緊急防災・減災事業債の拡充について

【議題】

- 1 消防財源確保に係る要望について
- 2 令和5年度国の予算概算要求に関する要望の方向性について
 - (1) 「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画について」の見直しについて
 - (2) 感染症対策としての無償使用車両・資機材の配備について
 - (3) 消防水利の財政措置について

【情報交換・情報提供】

女性消防吏員の更なる活躍の推進に向けた施設整備について

【その他】

次期開催地について



【財政委員会秋季常任委員会の様子】

◆ 消防実務研修会を実施

静岡県東部消防長会

静岡県東部消防長会では、令和3年10月15日（金）、一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会代表理事の畑喜美夫氏を講師に招き、消防実務研修会を実施しました。

これは、当消防長会を構成する7つの消防本部の係長級職員を対象に、職場環境の改善及び部下の育成方法について改めて見直す機会として、「消防職員の人間力向上研修」と題したボトムアップ理論に基づく研修を実施したものです。

研修では、トップダウンシステムとボトムアップシステムを融合させたトップボトムアップシステムを活用することにより、人間力を向上させ、風通しのよい組織が作れ、各種ハラスメントの防止にもつながるということを学びました。

今回の研修により、新たな育成方法等を知ることができ、大変有意義な研修となりました。



【研修会の様子】

消 防 本 部 の 動 き

行 事

◆ 殺菌ロッカー及びCO₂モニターの寄贈を受け感謝状贈呈式を実施

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和3年10月8日（金）、上尾伊奈防火安全協会より新型コロナウイルス感染症の感染防止用機材として、紫外線を利用した殺菌ロッカー及びCO₂モニターの寄贈を受け、上尾市役所において、感謝状贈呈式を実施しました。

贈呈式では、上尾市長が同協会会長に感謝状を手渡し、「救急業務や消防職員の健康管理に有効活用させていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

いただいた機材は、救急業務及び会議を安心・安全に行えるよう活用してまいります。

なお、同協会は、同日、伊奈町消防本部にも同様の感染防止用機材を寄贈しており、伊奈町役場において、伊奈町長から感謝状が贈呈されています。



【上尾市感謝状贈呈式後の記念撮影】



【伊奈町感謝状贈呈式後の記念撮影】

訓練・演習

◆ 警防技術訓練（消防長査閲）を実施

北広島市消防本部（北海道）

北広島市消防本部では、令和３年１０月１１日（月）、警防技術訓練（消防長査閲）を実施しました。

これは、組織的な活動能力の向上を図るために令和２年度から実施しているもので、同年度は小隊活動の強化に主眼を置き、消防隊、救助隊、救急隊がそれぞれの活動を実施したところです。

今年度は大隊や中隊の活動の強化に主眼を置き、各種想定をもとに、本署と出張所の部隊が連携した活動を実施しました。

当日は、市長も出席した中で、「低所からの引き上げ救出訓練」と「火災防御訓練」を実施し、日頃の訓練成果を披露することができました。

今後も、市民の安心・安全を守るため、訓練を重ねてまいります。



【低所からの引き上げ救出訓練の様子】



【火災防御訓練の様子】

◆ 消防訓練指導会を開催

海老名市消防本部（神奈川）

海老名市消防本部では、令和３年１０月５日（火）、新しい事業として、消防訓練指導会を開催しました。

これは、防火管理業務の一環である消防訓練を各事業所において自律的かつ効果的に遂行していただくために、消防訓練に関する指導を行ったもので、初年度となる今年度は、幼稚園、保育園、福祉施設を対象に開催しました。

当日は、座学で火災時の初期対応の重要性や消防用設備等の活用について指導し、実技で消火器の取扱方法や煙体験ハウスを活用した避難方法を指導しました。

今後は、別の防火対象物への指導を展開し、その用途に応じた指導会を開催してまいります。



【指導会の様子】

◆ 人身事故合同訓練を実施

東山梨消防本部（山梨）

東山梨消防本部では、令和3年10月5日（火）、勝沼ぶどう郷駅前甚六公園において、日下部警察署及びJR東日本と人身事故合同訓練を実施しました。

これは、同公園の展示車両を使用し、列車による人身事故発生時の連携強化を図る目的で実施したものです。

当日は、人身事故発生後における関係機関との情報共有、列車の下敷きになった要救助者の救出、そして列車の運転再開という一連の流れを実施しました。

訓練を通じて、現場対応力の向上及び関係機関との連携の強化を図ることができました。



【訓練の様子】

◆ 特殊災害対応訓練を実施

伊丹市消防局（兵庫）

伊丹市消防局では、令和3年10月6日（水）、管内に駐屯地を構える陸上自衛隊第3師団の第3特殊武器防護隊と連携した特殊災害対応訓練を実施しました。

これは、特殊災害対応力の向上を目的に3か年計画で実施しているもので、昨年度に引き続き2回目となりました。

当日は、「屋外催し物会場において何らかの液体が撒かれた可能性があり、複数の傷病者が発生した」という想定での図上訓練に続き、実動訓練を実施しました。図上訓練で情報共有や活動内容の協議を実施したことで、相互の活動の流れを認識することができ、その後の実動訓練では、スムーズな活動につながりました。

訓練を通じて、自衛隊に消防の活動内容について理解してもらうことができたほか、連携時に支障となる要因を抽出することができました。また、昨年度よりもさらに「顔の見える関係」を構築することもでき、とても効果のあるものとなりました。

来年度は、3か年計画の最終年として、さらにステップアップした訓練を計画し、特殊災害対応体制の構築に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 災害防御訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和3年10月6日（水）、消防職員約50人、自衛消防隊員約50人を動員し、災害防御訓練を実施しました。

これは、令和3年10月31日（日）、文化芸術の発信拠点となる大型施設「那覇市文化芸術劇場なは一と」の開館前に、自衛消防組織の充実強化を図ること、消防部隊の運用検証を行うことを目的に実施したものです。

同施設は、大型劇場（約1,600席）をはじめ、小劇場（約250席）やスタジオ等を備えており、災害時には多くの利用者の安全を確保しなければなりません。本訓練を通じて、効率的な自衛消防活動や消防部隊のさらなる能力向上につながる実りあるものとなりました。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の公共施設を使用した大規模災害想定訓練を実施

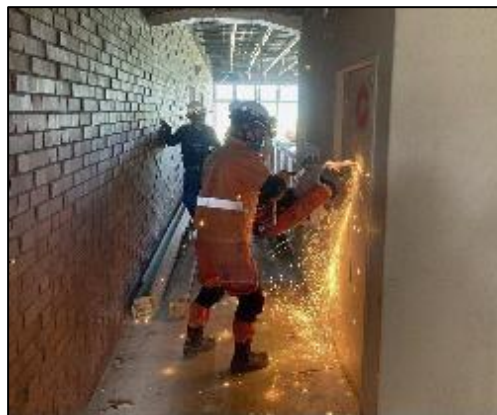
久御山町消防本部（京都）

久御山町消防本部では、令和3年10月2日（土）、3日（日）、10日（日）の3日間、解体予定の公共施設を使用した大規模災害想定訓練を実施しました。

これは、複雑多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、救助技術及び隊員間の連携を向上させる目的で実施したものです。

訓練は、大規模地震等で倒壊した建物で負傷者を救出するための開口部を確保する手法（ブリーチング等）を実施しました。

今後も、あらゆる災害に効果的な活動が実施できるよう、訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

◆ 物品販売店舗と合同訓練を実施

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和3年10月11日（月）、新たにオープンを迎える物品販売店舗と合同訓練を実施しました。

これは、物品販売店舗の災害発生時における初動体制の確立と、同店舗との連携強化を目的に実施したものです。

当日は、地震発生後に火災が発生したという想定で、従業員が初期消火、通報、避難誘導の訓練を実施したあと、消防隊が消火・救出訓練を実施し、最後に一斉放水で訓練を締めくくりました。

今後も、合同訓練を継続し、円滑な消防活動が実施できるよう訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

◆ 多数傷病者対応合同訓練を実施

丹波市消防本部（兵庫）

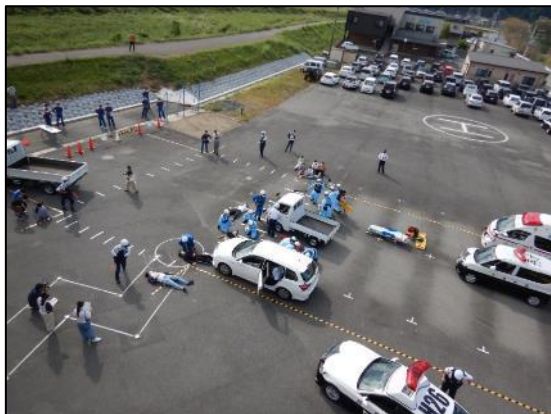
丹波市消防本部では、令和3年10月11日（月）、丹波篠山市消防本部、兵庫県立丹波医療センター（DMAT）、丹波警察署と多数傷病者対応合同訓練を実施しました。

これは、他機関との連携強化を図り、円滑な現場活動を展開する目的で実施したものです。

当日は、交差点内で普通トラックを含む車3台による交通事故が発生し、歩行者も含め多数の者が負傷しているとの想定で、丹波市立看護専門学校3年生39人に負傷者等を演じてもらい、総勢約80人で訓練を実施しました。

訓練では、想定をブラインド型にすることで、実災害に近い環境が再現でき、緊張感のあるものとなりました。また、訓練実施後は、あらかじめ指定していた評価者からのフィードバックや参加機関同士の意見交換も行い、次につながる実効性の高い訓練となりました。

今後も、他機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 岐阜県防災航空隊と合同訓練を実施

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和3年10月14日（木）、市内の馬籠地区において、岐阜県防災航空隊と合同訓練を実施しました。

これは、コロナ禍で登山やキャンプ等の屋外でのレジャーを楽しむ人が増加していることを踏まえ、山岳事故や屋外での事故への対応力の強化を図る目的で実施したものです。

当日は、航空隊員の指導を受けながら、充実した訓練を実施することができました。

今後も、合同訓練を通して連携強化を図り、災害現場での確に対応できるよう努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 三重県防災航空隊と合同訓練を実施

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部いなべ消防署では、令和3年10月14日（木）、竜ヶ岳において、三重県防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、山岳事故において要救助者への早期接触、安全な救出活動を実施できるようにするとともに、同航空隊との連携強化を図る目的で実施したものです。

当日は、救助隊員3名がヘリコプターで山頂付近に降下してから、要救助者を防災航空隊員と連携してヘリコプターに収容し、ヘリポートで待機する救急隊に引き継ぐまでの一連の流れを確認しました。

今後も、同航空隊との合同訓練を継続し、より良い活動が実施できるよう連携強化を図ってまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 移動タンク貯蔵所等立入検査教養を実施

名古屋市消防局（愛知）

名古屋市消防局では、令和3年10月6日（水）、愛知県下の消防本部（以下「各消防本部」という。）を対象に、移動タンク貯蔵所等立入検査教養を実施しました。

これは、全国で実施されている移動タンク貯蔵所等の立入検査の適切な実施及び各消防本部の検査方法等の情報共有を図ることを目的として実施したものです。

内容は、当消防局が定めた立入検査実施要領及び当消防局が作成した立入検査実施に関する説明動画を用いた座学のほか、屋外で実車を使用した模擬検査の実技を実施しました。

今後も、移動タンク貯蔵所等に対する適切な立入検査が実施できるよう、各消防本部との情報共有を図ってまいります。



【座学の様子】



【模擬検査の様子】

◆ 予防技術向上研修を実施

日立市消防本部（茨城）

日立市消防本部では、令和3年10月13日（水）、14日（木）の2日間、当消防本部内の消防設備実習室において、予防技術向上研修を実施しました。

これは、災害時の対応力向上や査察時などの指導力向上を目的に実施したものです。

研修では、自動火災報知設備や非常警報設備など、研修用の消防用設備等を使用し、各設備の基本的な機能や取扱要領を確認しました。

今後も、研修を継続することで、災害対応力の向上及び火災予防業務の効率化を図ってまいります。



【研修の様子】

そ の 他

◆ 住宅用火災警報器の設置促進ポスター原画作成表彰式を実施

埼玉東部消防組合消防局（埼玉）

埼玉東部消防組合消防局では、令和３年１０月６日（水）、住宅用火災警報器の設置促進ポスター原画作成表彰式を実施しました。

これは、住宅用火災警報器の設置・交換に対する住民の意識を高めるため、管内にある埼玉県立久喜北陽高等学校美術部の生徒に１０点のポスター原画を作成していただいたことを受け、消防局長が同校に対して、表彰状を授与したものです。

作成されたポスター原画は、どれも普及啓発の趣旨を十分に理解されたインパクトのある素晴らしい作品でした。

今後、同校の学校長及び美術部顧問の先生に、この原画の中から最優秀作品を選定していただき、選ばれた原画をＡ２版のポスターにして、管内の公共施設や事業所等１，５００か所に掲示していただきます。



【表彰式後の記念撮影】



【ポスター】

◆ 地元ケーブルテレビで火災予防啓発及び消防団員募集を実施

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和３年１０月８日（金）、地元ケーブルテレビ番組「あつぎ元気Wave」を通じて火災予防啓発及び消防団員募集を実施しました。

内容は、秋の火災予防運動（１１月９日から１５日まで）に向けて消防職員が防火対策を呼び掛けたほか、消防団長らの消防団員が消防団活動をＰＲしたものです。

今後も、さまざまな広報媒体を活用し、地域住民の防災意識の高揚を図り、火災件数の減少と消防団員の充足を目指してまいります。



【番組収録の様子】

◆ 女性消防団員と連携した住宅防火訪問を開始

大東四條畷消防本部（大阪）

大東四條畷消防本部四條畷消防署では、令和3年10月10日（日）、女性消防団員と連携した住宅防火訪問を開始しました。

これは、緊急事態宣言の解除を受け、これまで行っていたオンラインでの広報活動から対面での広報活動に切り替えたもので、高齢者世帯等を対象に訪問指導を実施しました。

この訪問指導に当たり、共通した指導ができるよう防火診断用タブレットを購入するとともに、女性消防団員を対象としたタブレット操作研修を行い、修了者に訪問時の身分証も兼ねる修了証を交付しました。

今回の訪問では、行動の自粛を余儀なくされ、家にこもりがちになっていた住民の笑顔を見ることができ、対面による啓発活動の大切さを再認識することができました。

今後も、住宅防火対策の推進により一人でも多くの命が守られるよう、関係団体と連携して火災予防の輪を広げてまいります。



【タブレット操作研修の様子】



【訪問指導の様子】

◆ 救急救護活動功労者に消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁新宿消防署では、令和3年10月14日（木）、救急救護活動功労者に対し、消防総監感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和3年9月15日（水）、管内にある健康プラザハイジア3階ウェルネスエイジ屋内プールにおいて、70歳代の女性が遊泳中に心肺停止状態となり、その場に居合わせた施設のインストラクター、友人及び看護師の計3名が連携して人工呼吸、胸骨圧迫及びAEDの操作を実施したものです。

衆人環視の中、3名による迅速・的確な判断と勇気ある行動により、女性は意識を取り戻し、現在は退院して社会復帰されています。

受賞者の方は、「応急手当てを学んだことがあったのでイメージができました。一人ではなかったもので、冷静に対応できたのだと思います。」と話してくださいました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消火栓蓋のデザインをリニューアル及び設置記念イベントを開催

岡崎市消防本部（愛知）

岡崎市消防本部では、令和3年10月14日（木）、消火栓蓋のデザインをリニューアルし、令和3年11月1日（月）から令和4年3月31日（木）までの間、設置記念イベントを開催します。

これは、消火栓蓋のデザインを昨年度誕生した当消防本部のマスコットキャラクター「レッサーくん」のほか、「岡崎城」、「三河花火」、「市の花（さくら）」、「消防車両」を盛り込んだものにリニューアルし、先行して制作した新消火栓蓋を市内の5か所に設置したことにより、設置記念イベントを開催するものです。

このイベントは、新消火栓蓋を撮影した写真を消防署に持参すると、新消火栓蓋がデザインされたオリジナル缶バッジを贈呈するもので、1人1回どなたでも参加していただけます。ただし、イベント期間中でもオリジナル缶バッジがなくなり次第終了となります。

今後も、イベント等をきっかけにして消防をより身近に感じることで、防火防災思想の普及につながるよう努めてまいります。



【新消火栓蓋】



【イベントチラシ】

◆ 消防訓練指導者講習会を開催

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和3年10月15日（金）、消防訓練指導者講習会を開催しました。

この講習会は、市内の保育園及び幼稚園の防火管理者に消防訓練の進め方などを講義したものです。

講義内容は、通報、避難、消火訓練の進め方、消防用設備等の取り扱い、自所属職員に対する火災対応能力を向上させるための伝達方法についてです。

参加された方々からは、「短時間でポイントが押さえられていたのので分かりやすかった。」、「資料を用意してくださったので分かりやすかった。」、「具体的な事例や質問もしやすくて良かった。」とのお言葉をいただきました。



【講習会の様子】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 令和3年1月から同年6月までに発生した製品火災に関する調査結果について (事務連絡、令和3年10月21日)

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

令和3年1月から同年6月までに発生した製品（自動車等、電気用品及び燃焼機器）の不具合により発生したと消防機関により判断された火災（以下「製品火災」という。）の調査結果を別添のとおり取りまとめましたので、送付します。（別添省略）
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/211021_yobou_1.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁予防課予防係 佐藤・田上

電話：03-5253-7523

Mail：yobouka-y@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 第37回危険業務従事者叙勲（消防関係）

(令和3年10月21日、消防庁)

第37回危険業務従事者叙勲（消防関係）受章者は、621名で勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝双光章	285名
瑞宝単光章	336名
計	621名

(受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。) (別添省略)

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/d37a8530cfb47f24c518c10195493bc1d0158cc5.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

泉水政策評価広報官・中原係長・監物事務官

Tel 03(5253)7521 内線 42173

Fax 03(5253)7531

◆ 令和３年９月の熱中症による救急搬送状況

(令和３年１０月２１日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和３年９月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211021_kyuki_01.pdf)に掲載されています。

(連絡先)
消防庁救急企画室
担当：若味、入江、富樫
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

◆ 令和３年度消防設備関係功労者等に係る消防庁長官表彰

(令和３年１０月２２日、消防庁)

消防庁では、１１月５日（金）に令和３年度の「消防設備保守関係功労者」、「消防機器開発普及功労者」及び「優良消防用設備等」に係る消防庁長官表彰を行います。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211022_yobou_1.pdf)に掲載されています。

連絡先：消防庁予防課
担 当：原・羽田野・中原・藤原
電 話：０３－５２５３－７５２３
ＦＡＸ：０３－５２５３－７５３３

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0314）1ページ、機関誌「ほのお」2021年4号（4／25発刊）25ページ又は5号（5／25発刊）30ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 菅原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字以内で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 菅原

原稿データは、honoo@fcj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 浅倉

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。